

# 彦名通信

# No. 165

平成23年7月



入学式



新入生オリエンテーション



新入生オリエンテーション



前期中間試験(1M)

## CONTENTS

### 目次

#### 新年度特集

校長より	2
入学式の様子	2
副校長、各主事より	3
キャリア支援室長より、新任教職員挨拶	4

#### クラス便り

1年機械工学科	5
1年電気情報工学科	6
1年電子制御工学科	7
1年物質工学科	8
1年建築学科	9

#### クラブ便り

対 松江高専定期戦	10
-----------	----

#### 学生会便り

学生会紹介	10
-------	----

#### 地域交流

地域共同テクノセンターの紹介	11
----------------	----

#### 研究活動

研究紹介	12
------	----

#### トピックス

平成23年度編入学生の紹介	13
ソルダリング(はんだ付け)入門講座	14
化学工学会優秀賞受賞	14
岸本駅前施設が竣工	14
米子駅地下空間計画	14
卓球部報告・英語弁論全国大会	15
前期行事予定	15

#### 専攻科便り

専攻科長より	16
ベトナム学生との交流会	16
地域社会にもっと米子高専を知ってもらうために	16
編集後記	16

# 米子高専の教育—東日本大震災から学ぶこと—

校長 齊藤 正美



本年度は、203名の新1年生、25名の新専攻科生、4名の編入学生、6名の留学生を迎えて米子高専の新学期が始まりました。入学式や新入生オリエンテーションでは、フレッシュでしっかりした顔つきの新一年生を見て心強く思いました。これからの学校生活で勉学と自己研鑽に励み、5年後には立派な成人となって巣立っていくことを願っています。

さて、去る3月11日、東日本で私たちがかつて経験したことのない大地震と津波が発生し、多くの方が亡くなりました。改めて哀悼の意を表すとともに、一日も早い被災地の復興をお祈りします。それに加えて、原子力発電所の損壊による放射能漏れなどの重大な問題も発生しています。戦後最大の危機とも言えるこのような状況に対して、私たちは何をすればよいのでしょうか。被災された方々に対する励ましや支援はもちろんです。今こそ私たち一人一人が未来に対してなすべきことをしっかりと行っていくことが大切だと考えます。

米子高専の学生は、将来社会に貢献できる技術者や研究者を目指して入学し、勉強や課外活動に励んでいるものと思います。科学技術の進歩、ものづくり技術の高度化、価値観の多様化、産業活

動の国際化などが進むこの時代、技術者が果たすべき役割は非常に大きなものがあります。自然環境を守り、人間社会の安全と快適な暮らしを維持し、物心両面での社会の発展に寄与することが求められています。そのためには、高度の知識や技術と深い知恵、そしてそれらを実現するための実行力が必要になります。我が国は、第二次世界大戦後一貫して工業力の向上に努めて今日の地位を築いて来ましたが、今後とも科学技術創造立国を目指して行かなければならないと思います。持続的な工業力の発展、長期にわたる被災地の復興、そして皆さんが生まれたふるさとの再生を図るためには、高い専門知識を身につけた視野の広い人材が必要です。学生諸君には、高いモチベーションと強い意志をもって勉学に励むとともに、人間性の陶冶と人格の形成を図るよう努力することを期待しています。普段はなかなか意識できないかも知れませんが、あのような大災害が起こってみると、今ここにこうして生きていることに感謝すべきことがよく理解できます。とくに新1年生の皆さんにおいては、そのことを胸に刻み、米子高専での新しい一歩を踏み出してほしいと思います。

私たち教職員も、高等教育機関としての米子高専の存在感と魅力を一層高めるようがんばっていきたいと思いますので、保護者の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

## 入学式の様子

4月5日（火）、本校第一体育館にて入学式が厳かに挙行されました。今年は晴天に恵まれ、文字通り「晴れ」の入学式となりました。入学生数は、本科計203名（内訳：機械工学科41名、電気情報工学科40名、電子制御工学科40名、物質工学科41名、建築学科41名）、専攻科生25名、編入学生4名、留学生6名です。



## 副校長より

物質工学科 小田 耕平

平成20年度から3年間に亘り取り組んできました教育GP「中海とともに育てる地域連携型環境教育」は、文科省からの財政支援期間終了に伴い平成22年度末を持って取組を一応終了しました。この取組では、学生諸君はもちろん教職員の方々の多大な支援のもと大きな成果を上げることができました。今後は、規模の縮小や実施体制の見直しなどを行って平成23年度以降も継続していくことになりました。この取組が米子高専の環境教育として定着することを願っています。この取組の成果は、報告書「活動報告」として取り纏め全国の高専や大学に送付しました。この取組が他の教育機関において新たな取組を実施する上での参考となることを望んでいます。



一方、今年度はJABEEの認定審査を受けることになっています。現在、7月末メ切の自己点検書を作成している段階で、学校を挙げて資料の作成に取り組んでいます。10月～11月には実地審査があり、建築学プログラムと複合システムデザイン工学プログラムの2つのプログラムを同日受審することになっています。

■総務主事補：青木 (C)、山本 (D)

## 寮務主事より

電子制御工学科 能登路 淳

ご存知のように本校の学生寮は遠方からの通学困難な学生が生活するためのものですが、同時に教育の場としての寮でもあります。教育寮とは「集団生活を通じて、他の学生との人間関係を築き、自己の人間形成を目指す」ものです。しかし、最近上級生のみならず2、3年生の間にも寝坊や点呼不在といった生活の乱れが見受けられます。そこで今年度は「基本的生活習慣の育成」を重点項目に掲げ、全寮生が健全な生活習慣を身につけることを目標に、指導・運営を行っていきます。



平成23年5月現在の寮生数は、男子の新入寮生45名、女子10名、3年編入留学生6名（マレーシア3名、モンゴル1名、スリランカ1名、ラオス1名）及び4年次の編入学生2名を加え、総勢255名となり、全学生の約1/4が寮生ということになります。この寮生を寮母を含めた13名の寮務教職員と高砂・白鳥寮長をはじめとする寮生会役員とで一体となってサポートしていきますので、何卒保護者の皆様にもご理解とご協力をお願い致します。

■寮務主事補：宮田(E)、谷藤(C)、松崎(G)、権田岳(M)、大野(G)、藤木(A)

## 教務主事より

電気情報工学科 松原 孝史

この4月から教務主事の松原と申します。教務の仕事は、守備範囲が広く、間違いが許されませんのでスタッフのチームワークはもとより、教職員、学生との連携・協力体制が何より重要だと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



さて、今年度より2コマ授業をベースとした新日課時限を適用しています。これにより、放課時刻が早くなり、学生の自学自習時間や教員による個別指導時間の確保、クラブ活動後の下校時の安全性の確保など多くのメリットが考えられますが、時間的な余裕が生まれることから学校全体に活力が出てくることになによりです。学生の皆さんは、高専に来た目的を今一度思い起こして、自分のキャリアビジョンに沿った学校生活を送ってください。卒業時には必ず目的が達成できると思います。

勉強する上で分からないことがあれば、遠慮無く先生に聞きましょう。試験前には、低学年を対象に専攻科生TA(ティーチング アシスタント)による質問受付教室も実施していますので積極的な活用をしてください。前期中間試験前には、168名もの質問者がTAに殺到しました。

■教務主事補：竹内(G)、川邊(G)、権田英(E)、榎間(C)

## 学生主事より

一般科目 森田 典幸

昨年度一年かけて授業時間の見直しを行い、本年度より一部の曜日を除いて授業の終わりが15時25分となりました。それに伴い課外活動の終了時刻が20時から19時に変更されました。効率的に練習し、活動終了時刻を守り、活動終了後は速やかに帰宅・帰寮して、新たに生じた1時間を、自分自身を高めるために有効に使って下さい。メリハリのある生活を送って下さい。

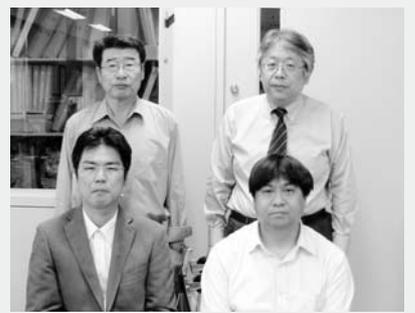


さて、始業式でも話したことですが、スポーツにはルールがあり、ルールを守らないと試合が成り立たないので、ルールを破れば当然ペナルティーを受けます。自分と相手の身体を守り、自分の正当なプレーを妨害されず、相手の正当なプレーを妨害しないためのルールです。社会や学校のルールも同じです。自分の生命や身体、所有物やプライドなどを守り、相手のそれらを尊重するために多くのルールがあり、ルールを破れば相応のペナルティーを受けます。そして今年はそのような社会のルールが一つ増えます。後日改めて周知しますが、鳥取県道路交通法の一部改正により10月1日から、自転車の傘差し運転や、自転車運転時の携帯電話の使用、有効な警音器を備えていない自転車の運転が禁止となります。自身の生命や身体を守り、他者のそれらを守るためです。ペナルティーは5万円以下の罰金です。ペナルティーを受けて、「アア、あの5万円があったら……………」。できたのに」などと嘆くことがないようにしましょう。

■学生主事補：蔵岡(G)、高増(A)、大塚宏(M)、田中博(E)、井上(D)

# キャリア支援室より

建築学科 玉井 孝幸



今年度から新しくキャリア支援室長を拝命いたしました建築学科の玉井です。どうぞよろしくお願いいたします。

高専ではこれまでも社会経験と高い専門性を持った各学科の先生方が直接、就職や進学先の相談や紹介を行って来ました。近年、学生の多様性や高度な専門性などの社会からの要求にこたえるべく、キャリア支援室でも低学年からのキャリア形成教育を支援しています。

今年度は、1~3年生では高専生としてアイデンティティーを持てるような講演を、4年生ではインターンシップと企業・大学説明会を開催、5年生には就職支援を予定しています。

東日本大震災の影響により、今年度以降の就職戦線は非常に厳しいものになると思われます。そのため低学年からの職業イメージを持ち、資格等の取得を率先して行ってください。また4年時のインターンシップは、就職試験の際の志望理由の動機や、就職後のミスマッチを防ぐためにも重要であり、採用企業もインターンシップに参加した学生に対する評価は高いです。

キャリア支援室でも情報の提供なども含め、支援してゆきますので、よろしくお願いいたします。

■キャリア支援副室長：原 (G)

# 新任教職員挨拶



学生課長  
古杉 俊輔

鳥取大学入試課長からの転任なのですが、実のところは出戻りです。20年前の高専とは随分様変わりし、〇〇太郎の心境です。神戸在任中にダンスに、はまってしまい先々で踊る学務課長、踊る入試課長と自称しています。どうぞよろしくお願いいたします。



物質工学科  
助教 伊達 勇介

この度、物質工学科に着任しました伊達勇介です。私は平成13年に本校を卒業後、大学大学院と進学し、鳥取県の研究機関の研究員を経て、10年ぶりに母校へ戻ってきました。授業は分析化学を担当しています。新しい環境のもと、これまでの経験を生かしながら米子高専に貢献できればと思っています。よろしくお願いいたします。



物質工学科  
助教 村田和加恵

本年度から米子工業高等専門学校物質工学科に赴任しました村田和加恵です。大阪出身で、昨年までは大学院で生物学を学んでいました。教員としても社会人としても新人ですが頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。



建築学科  
准教授 前原 勝樹

この度、建築学科に着任しました前原勝樹です。福岡から北九州市を経て米子にまいりました。関門海峡を越えての勤務は初めてとなります。専門としております建築設備、建築環境工学の分野で地域貢献できるよう取り組んでまいります。



学生課長補佐(学務担当)  
加藤 篤

この度、7月1日付けで鳥根大学財務部経理調達課から転任してまいりました。高専勤務は初めての経験で、色々戸惑うことも多々あるかと思ひます。微力ではありますが、今後ともよろしくお願いいたします。



総務課長補佐  
野口 昭雄

この度、鳥取大学医学部から転任してきました。前職では、医学部及び病院の予算関係業務を主に行っておりました。現在、予算関係業務を主にさせていただいておりますが、職場環境が変わり、戸惑うことも多く、皆さまにご迷惑をおかけしていることと思ひます。微力ではありますが、今までの経験を生かしながら、皆さま並びに高専のために頑張りますので、よろしくお願いいたします。



総務課  
三原 佐苗

今年度、事務補佐員として総務係で勤務する事になりました。高専での勤務はいろいろな刺激を受けながらの毎日です。まだまだ、ご迷惑をお掛けしておりますが、微力ながら、皆様のお役に立てよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



総務課  
城戸 文子

4月より、総務課契約係の事務補佐員としてお世話になることになりました。数年前に鳥取大学医学部で契約関係の事務として勤めていました。同じような仕事ですが、環境の違いに戸惑うこともあります。経験を生かし、少しでもみなさんのお役に立てることができたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



学生課  
秦野 夏希

4月から学生課教務係で事務補佐員としてお世話になっております。昨年度まで皆さんと同じ学生だったので仕事に関してはまだまだ戸惑うことも多いですが、精一杯頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学生課  
長谷 亜紀

4月から情報センターで勤務しています。私は本校機械工学科の卒業生なので、久しぶりの母校は大変懐かし、お世話になった先生を見つけては青い春の日々を振り返っています。以前の学生としての目線を踏まえつつ、職員としての新しい目線ががんばっていきますので、よろしくお願いいたします。

# 1年機械工学科

## クラスデータ

学生数 45名(男44、女1)  
 寮生数 13名  
 (鳥取中部7、鳥取東部2、岡山県1、兵庫県3)



## 大山オリエンテーションに参加して 足立 拓也

入学して2日目に大山オリエンテーションで大山ロイヤルホテルへ行ってきました。まずはじめはガイダンスと校歌の練習をしました。入学してから、ガイダンスとテストしかしていなかったの、正直かなり眠たかったです。それから、学科ごとに別れて自己紹介とクラス役員を決めました。その後、部屋に戻り自由時間となりました。入学してからあまり日がたっていなかったの少し緊張していましたが、同室者の人と話をしていくうちにだんだん楽しくなってきました。そして、他の人の部屋にも行っていろいろと話をするようになりました。大山オリエンテーションに参加するまでは、クラスの雰囲気も暗かったけれど、参加後はとても明るくなったと思います。5年間、一緒に学んでいくクラスなのでいつも楽しく過ごせるようにしたいです。

## 高専に入学して 大木 悠平

僕は高専に入学が決まり、これからの学校生活で機械の専門知識を学ぶことができるため、とても嬉しく思っていました。そして、これから授業についていけるだろうか、友達はあるだろうか等の不安も感じていました。実際、初めて1Mの教室に入った時、クラス全員が緊張していたのか教室内がものすごく静かで、その雰囲気に押し潰されそうでした。このクラスの状態が友達ができるのか心配でしたが、大山オリエンテーション後、クラスの雰囲気は変わりました。大山オリエンテーション2日間で、少しずつお互いのことが分かってきて話をする様になり、相手を信頼するようになったからだと思います。今では、クラスの中がとても明るくにぎやかで、僕も友達と楽しく話をしています。これから、もっと信頼できて困った時などはお互いに支え合えるような仲間となって、高専生活を楽しくしていきたいです。

## 担任インタビュー



機械工学科  
早水 庸隆

### このクラスの特徴を教えてください。

とてもまとまりあるクラスです。そして、一人一人が積極的であり、クラス役員もそれぞれが立候補して決まりました。今後は期待できるクラスだと思っています。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

高専卒業後もクラス全員が仲間となる友人関係を築いてもらいたいです。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

「何々はできない、苦手だ」という思い込みは捨ててください。やってみればできることは山ほどあります。



# 1年電気情報工学科

## クラスデータ

学生数 40名(男33、女7)  
 寮生数 13名  
 (鳥取中部6、鳥取東部4、兵庫県2、広島県1)



## 米子高専に入学して

小林 和史

高専に入学して、1ヶ月以上が過ぎました。高専に入学して1番大変なことは、勉強と部活の両立です。授業の進む速さも速く、正直、まだ慣れていません。クラスの雰囲気は、最初は誰も喋らず、クラスが沈黙していました。クラスに居ることが辛かったです。

しかし、オリエンテーションをきっかけに、クラスの雰囲気が良くなり、話さなかった人達とも仲良くなり、今の高専生活はとても楽しいものになりました。

これから5年間、楽しいこと、つらいことなどいろいろあると思いますが、周りの人達と協力して乗り越えていきたいと思っています。

## 米子高専に入学して

小西 那奈

米子高専に入学して、約2ヶ月経ちました。入学して初めは、友達もいなくて、高専についてもまだまだ知らないこともあったので、これからへの期待よりも不安のほうが大半を占めていたように思います。

でも、まだ高専の授業のスピードに慣れることができなくて、四苦八苦しています。わからないところは、友達や先生に訊いたり、授業の復習をしっかりと、自分なりにがんばりたいです。これから、辛いときや、勉強が大変なときもあると思います。そのときは、5年間付き合っていくクラスの仲間と協力して、充実した学生生活を送っていきたいです。

## 担任インタビュー



電気情報工学科  
 庄倉 克彦

### このクラスの特徴を教えてください。

とても明るく、元気のあるクラスです。学級役員を決める時も、積極的に自分から立候補してくれ、全委員があっという間に決まりました。女子学生が7名と、電気情報工学科になる前の電気工学科の時代を通じても最多で、寮生がクラスの1/3の13名と多いのも特徴です。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

休み時間は元気で賑やかでも、授業が始まると静かに授業に集中できるようなメリハリのあるクラスになって欲しいと思います。女子学生も積極的にクラス運営に関わってくれと良いですね。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

入学当初のフレッシュな気持ちを忘れず、自分の目標に向かって突き進んでいてください。1つでもいいので、勉強以外に5年間打ち込めるものを見つけましょう！



# 1年電子制御工学科

## クラスデータ

学生数 41名(男38、女3)  
寮生数 5名  
(鳥取中部2、鳥取東部2、兵庫県1)



## 高専に入学して

山田 峻兵

僕は「高校」とは少し違う「高専」に、様々な感情を抱いて入学しました。同じ中学校から来た人のいないクラスで上手くやっけていけるだろうか、授業についていけるだろうか、そんな不安も最初はありました。しかし、皆とても明るく、クラスにはすぐに解けこめました。授業にも何とかついていけそうなので、今では毎日がとても楽しくて、充実しています。

クラブ活動はラグビー部に入部しました。ラグビーはとても危険で乱暴な先輩が多そうなイメージが強かったです。でも実際は分からないことを丁寧に教えてくれる優しい先輩ばかりでした。試合に出るとしたらの仮定で、自分のつくポジションを覚えてもらったので、今はそのポジションの仕事覚えるために頑張っています。

高専生活は始まったばかりなので、気を抜かず有意義に過ごしたいと思います。

## オリエンテーションを終えて

住田はるか

私はオリエンテーションでたくさんいろんな学科の友達ができました。D科は女子の人数がかなり少なく3人しかいないので、オリエンテーションで他の学科の人達とたくさん話をすることができたのでよかったです。D科教室は他学科教室とかなり離れているので、なかなか他学科の人と会うことが出来ません。なのでオリエンテーションは他学科の人達と友達になることが出来て本当によかったと思います。

あと、単位を頑張って取らないといけないということが分かりました。7単位までしか落とせないということが分かったので、予習や復習をきちんとやり、レポートや小テストなども頑張ろうと思いました。

今回のオリエンテーションはとても楽しくてよかったです。

## 担任インタビュー



電子制御工学科  
村側 博康

### このクラスの特徴を教えてください。

まだ不安や戸惑いを感じている学生、個性豊かな学生等さまざまだが、元気のある明るいクラスだと思います。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

個性を尊重し、互いに信頼できる雰囲気を持った、まとまりあるクラスになってもらいたい。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

自分にあった目標を定め、将来の夢に向かって一歩一歩努力しましょう。充実した1年間、さらに卒業までの5年間を送ってくれることを願っています。



# 1年物質工学科

## クラスデータ

学生数 42名(男22、女20)  
寮生数 12名

(鳥取西部1、鳥取中部4、鳥取東部3、千葉県1、兵庫県1、島根県1、広島県1)



## 高専に入学して

坂根すず香

私は初め、高専での生活に不安を抱えていました。勉強面も不安だったし、何よりも私は倉吉に住んでいたの、寮の生活や友達ができるかどうかなどの不安がありました。しかし、入学してすぐのオリエンテーションで友達もたくさんでき、寮も慣れると過ごしやすく、今では高専生活を楽しくしています。クラスは皆が仲良く、明るく、楽しく過ごしています。お互いが勉強を教え合っているの、クラス全体が向上しています。この雰囲気はずっと続いて欲しいです。また、部活動も楽しいです。先輩方も優しく親切で、日々が充実しています。私はマネージャーなので、選手の人役に立つよう早く仕事に慣れていきたいです。これから勉強でつまづくことや、いろんな悩みごとも生まれると思いますが、ここでできた友達とともに5年間をやり遂げたいです。

## オリエンテーションを終えて

小笠原宙樹

僕は米子高専に入学して、まず校舎が広く、きれいなことに驚きました。これから5年間ここで学べると思うと、ワクワクが止まりませんでした。

僕のクラスは初めみんな緊張していて、とても静かでした。僕はこのクラスで5年間やっていけるのかなと少し心配になりました。そんな中で、大山オリエンテーションが始まりました。しかし、大山オリエンテーションでは自己紹介や夕食を一緒にすることで、みんなの緊張がほぐれていき、静かだったクラスが笑い声や話し声が絶えないクラスへと変わっていききました。

1Cは大山オリエンテーションで1つになることができました。この1Cの仲間たちと5年間互いに刺激し合い、夢に向かって頑張っていきたいです。

## 担任インタビュー



物質工学科  
小川 和郎

### このクラスの特徴を教えてください。

個性的な学生が多く、明るく元気なクラスです。授業も真面目に受けていますが、ここに積極性が加わると、なお良いと思います。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

マナーとルールが遵守できるクラスになって欲しいと思います。また、全員が同じ目的に向かって取り組めるような団結力を築いて欲しいです。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

コミュニケーション力は、ものづくりを支える技術者になるために必要な能力の1つです。なるべく携帯電話を使わずに、直接、顔を見ながら話をしてみましょう。新しい出会いや発見があると思います。



# 1 年 建築学科

## クラスデータ

学生数 42名(男23、女19)  
 寮生数 11名  
 (鳥取西部1、鳥取中部8、島根県1、岡山県1)



## オリエンテーションの感想

山根 拓也

僕は、新入生オリエンテーションを通して、別の中学校の人達と仲よくなれて、とてもうれしかったです。

僕と同じ部屋に泊まった人は、どちらも寮生で、僕は寮生の生活を、学校からかなり近い所で寝起きすることができ、充実した学校生活を送れると思っていました。しかし、本当は朝早くから起きて、掃除など自分の事は自分でしなければならず、先輩との上下関係が厳しい事を知り、僕は現実にはきびしいものだと思いました。

寮生のDVDを見る前に、「自転車おじさん」というビデオも見ました。僕は駅から自転車に乗って通学します。しかし自転車おじさんという人は知りませんでした。僕は、見ながら自転車をきれいに並べている自転車おじさんの事が、とても素晴らしいと思いました。

ビデオを見た後、学級役員を決める時間がありましたが、出るべきか、大人しく座っているべきか、僕は迷いましたが、早めに行動する事は大切だと聞いていたので、出馬しました。学級委員になれたのはいいのですが、僕の心は揺れました。自分で決めたので後悔してはいけないと思い、「やる」という意志を固めました。

## オリエンテーション

河野みさ樹

4月7日と8日に大山に行きました。大山は中学校の頃に登山したり、家からも見えるので、別に特別な山ではなかったけれど、大山ロイヤルホテルにとまるのは初めてだったので、少し楽しみでした。

建築科のために12Fの部屋を準備していただいたのはとてもありがたかったけれど、天候にはあまり恵まれなかったため、良い景色とは言えませんでした。

OB・OGのお話で、私の夢はインテリアデザイナーになって家具や壁紙などを、花や植物をモチーフにしたものをつくってみたいと思っているので、OBの方のお話と少しちがっている所もあったけど、建築家の方も、空間の使い方、光の取り入れ方、環境など様々な面から、依頼者の事を想ってつくっている面では共通する面もあるんだなあと思いました。

同級生の一人は、インテリアコーディネーターになりたいと言っていたので、タグを組んで、私がデザインしたものをコーディネートして欲しいと思いました。

## 担任インタビュー



一般科目  
 酒井 康宏

### このクラスの特徴を教えてください。

とても落ち着いた良いクラスです。男子と女子の仲が良いですね。けじめもつきます。授業中は静かに聞く態度が身についています。提出期限もきちんと守れます。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

この落ち着いた雰囲気を最後まで保って欲しいですね。月並みですが、他人を思いやる優しい気持ちを大切にして、誠実味あふれる人間に成長して欲しいと思います。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

点数評価されない活動を大切にしてください。清掃・奉仕活動等は、点数評価されないかもしれませんが、実行すれば気持ちがとても良くなります。点数評価されない活動こそ、みんなを強くします！



クラブ便り

対松江高専定期戦

5月14日（土）、松江高専との第46回定期戦が米子・松江の両会場にて行われました。同日、文科系クラブ等の交流会も行われました。

	米子高専		松江高専
バレーボール男子	0	-	2
バレーボール女子	0	-	2
柔道	2	-	3
剣道	1	-	4
野球	1	-	14
テニス	3	-	0
バドミントン	2	-	1
バスケットボール男子	52	-	83
バスケットボール女子	47	-	64
ソフトテニス	1	-	2
サッカー	3	-	1
卓球	3	-	0
水泳	240	-	254
ハンドボール	30	-	26
ラグビーフットボール	25	-	7

総合成績  
米子高専  
6勝9敗



バレーボール部男子



ソフトテニス部



サッカー部



ハンドボール部



バドミントン部



水泳部

学生会便り

今年度の学生会紹介

学生会長 5E 来海 亮

こんにちは、今年度学生会長を務めさせていただきます5E来海亮です。

学生会は毎年、高専祭や文化発表会など、様々な学校行事に携わっています。6月29日には球技大会を実施します。各学生が体を動かしながら学生同士の仲を深めてくれればと思います。

また今回の大震災に対し、学生会として校内で3日間、募金活動を行いました。集まった募金総額は55,878円となり、独立行政法人国立高等専門学校機構のほか日本赤十字社に寄付させて頂きました。今回の募金活動にご協力頂いた皆様に、この場を借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

なお、この募金活動は学校行事に合わせこれからも実施していきたいと思っています。引き続き皆様のご理解・ご協力をお願いします。

以上のような活動を通して高専の学生1人ひとりが学生生活を楽しめるよう学生会役員一丸となって努力していきますので、皆様の応援・ご協力をお願いします。



# 地域共同テクノセンターの紹介

地域共同テクノセンター長 機械工学科 大塚 茂

地域共同テクノセンターは、本校の地域・社会連携の窓口として、民間企業等との研究協力（共同研究、受託研究、技術交流等）、技術相談、人材育成事業等により地域産業の技術開発、及び技術力向上に貢献すべく活動を行っております。

また、“地域と共に歩む高専”として米子市や鳥取県との地域連携を推進し、まちづくりや地域社会の発展に寄与することを目的とした地域貢献活動も展開しています。

これらの活動の充実・発展を図るため、米子高専振興協力会による協力・助成や行政機関、産業支援機関等との包括連携協定締結などを実施する中で、今年度は下記の活動に重点を置いて推進していきます。

■スタッフ：副センター長 森田 (M)、  
センター長補 加藤 (G)、前原 (A)

### 主な業務

- ①共同研究、受託研究、及び技術相談等の産学官連携活動の推進  
(特に昨年10月に発足した東部分室を活用した連携の強化)
- ②研究シーズ、研究成果、連携活動報告など情報発信の推進  
(産学官連携活動成功事例等の発信)
- ③人材育成事業、連携講座、企業人材活用など地域共同教育の推進
- ④公開講座、出前講座、ジョイント講座などによる地域連携及び地域貢献活動の推進



ホームページを刷新しました！  
<http://www.yonago-k.ac.jp/center>



振興協会東中部企業見学会



EV人材育成カリキュラム導入講義



エンジョイ科学館

### 《平成23年度の地域貢献事業（予定）》

月	日	イ ベ ン ト	対 象	場 所
5	28(土)	【文化セミナー】「ライオンからあげってな～に?」	一 般	米子市公会堂
6	25(土)	【文化セミナー】「近現代の文人たちと山陰」	一 般	米子市公会堂
7	23(土)	【公開講座】親子で楽しむロボットづくり教室	小学4～6年生と保護者	米 子 高 専
7	23(土)	【公開講座】親子ふれあい科学教室	小学5・6年生と保護者	米 子 高 専
7	30(土)	【公開講座】リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう	小学3・4年生 (保護者同伴歓迎)	米 子 高 専
8	12(金)	スーパー・エンジョイ科学館(中・高校生のための知的冒険事業)	中学生・高校生	米 子 高 専
8	20(土)	【公開講座】家庭発!親から子へつなく、エコ工作教室	小学3～6年生と保護者	米 子 高 専
8	25(木)	【公開講座】フィジカルコンピューティング入門	中学生	米 子 高 専
9	3(土)	【公開講座】ロボットシステムを使ってボールシューターを作ろう	中学生	米 子 高 専
9	4(日)	【公開講座】楽しいマイホームづくり	中学生(保護者同伴歓迎)	米 子 高 専
9	10(土)	【公開講座】コンピューターロボット入門	小学5・6年生・中学生	イオン日吉津
10	未定	【公開講座】iPad/iPhone向けアプリケーション開発入門	一般(中学生・高校生可)	米 子 高 専
10	22(土)	【文化セミナー】「国立公園としての大山/歴史的町並みとしての大山」	一般	米子市公会堂
11	26(土)	【文化セミナー】「私たちの身の回りの塗料」	一般	米子市公会堂

## 研究紹介

## 機械工学科 矢壁正樹・権田 岳研究室

本校の機械工学科には、10名の教員が在籍し、それぞれの専門分野を生かした研究を行っており、これまでもこの欄において数々の研究室が紹介されています。今回は、これまでとはちょっと異なった面からの研究室紹介をいたします。

NHKの「全国高専ロボットコンテスト(通称:高専ロボコン)」といえば、高専について詳しく知らない方でも1度や2度はテレビなどでご覧になったことがあるのではないのでしょうか。本校は、高専ロボコンの黎明期(1988年~)からチャレンジを続けており、これまでも全国大会準優勝をはじめとして、中国地区大会優勝や数々の賞を受賞しています。この高専ロボコンにチャレンジする学生のほとんどは、主に入学直後の1年生から活動を始めますが、特に機械工学科では、5年生になったときに卒業研究として学生時代の総決算としてのロボコン活動に専念することができ、それをサポートする体制を学科を挙げて確立しています。もちろん、5年生での卒業研究では、ただロボットを製作するだけではありません。「高専ロボコン」で競い合うための新技術の研究も行なっています

NHKの「高専ロボコン」は、毎年4月に新しいテーマとルールが発表され、10月の各地区大会に出場するためのロボットの設計・製作に取り組まなければなりません。今年度は、「ロボ・ボウル」と題した、人間とロボットが協力して競技を行なうという、これまでにない難関な競技課題となっており、矢壁研究室と権田研究室の卒業研究生をはじめとした有志の学生によるロボコンチームが日夜ロボット開発に取り組んでいます。ちょうど皆さんがこの彦名通信をご覧になる頃には、考案されたアイデアを元に製作された試作機による開発テストが行われていると思います。

近年の「高専ロボコン」は、ロボットの無線操縦化や自動化そして二足歩行化が求められ、学生たちはロボコン活動を通じて、学校の授業で学ぶ技術を基礎とするだけでなく、自らが率先して新しい技術にチャレンジし、より高度なものづくりの技術の修得をしています。それらの活動の成果の一部は、今年8月と11月に開催される米子高専オープンキャンパスの他、各種イベント等でご紹介いたしますので、ロボコンに興味をお持ちの方はぜひ参加して、その目でご覧になって下さい。



## 研究紹介

## 電子制御工学科 加納尚之研究室

大学を卒業して27年目となる。その間、私の研究テーマは一貫して「ALS患者の意思伝達に関する研究」である。ALSとは全身の運動神経がだいに壊れていき、体を動かすことができなくなり、コミュニケーション能力が損なわれていく進行性の難病である。この病気の最大の悲劇は、精神的には健常者となんら変わりなく、自分の衰えゆく有様をつぶさに感じながら、終末を迎えなければならない点にある。現在、このような患者のための意思伝達装置(Communication Aid: CA)の開発が切望されている。CAで最も重要な部分は、患者との接点である入力センサである。病状の初期にはメカニカルなスイッチが有効であるが、重度になると脳波を利用する以外に方法はない。そこで、脳波の成分である事象関連電位(Event Related Potential: ERP)を利用して患者の意思を特定する研究を行っている。ERPとは、受容者が意図している視覚などの刺激が与えられた場合に誘発される脳波である。意図しない刺激には誘発されない。ERPの中でも特にP200とN200とP300を検出し、これらを患者の意思情報とすることによって、患者の意思を伝えることができる。信じられないかも知れないが、患者が心の中で「扇風機回れ」と念じれば扇風機を回すことができる装置を開発した。研究成果は研究論文として学会に多数公表した。そして、これらの成果をまとめ特許出願を行っていたところ、平成21年9月には、「事象関連電位を利用したヒトの心理状態等の判定装置」と題して特許を取得した。特許第4369290号である。私がこの研究を進めているのは、決して偶然ではなく、ましてや単なる思いつきではない。今、思い返せば、高校時代からこの研究に取り組むための下地作り始めていたと思っている。受験勉強はあまりにも苦く、生きる意義を見失っていた。そのとき、「生命だけは平等だ」(徳田虎雄 著)に出会い、誰でもこの世には使命があって生まれてくるのだと確信した。その使命が、現在、形となって現れつつあるのである。私の研究は、取り組んだ当初は全く認められることはなかった。「嘘つき」と言われたこともあったが、今ではマスコミも注目するようになり、学会でも認められるようになった。これからは、一刻も早く実用化にこぎ着けたいと考えている。



## 平成23年度 編入学生の紹介

3M MUHAMAD FAIS BIN ABD RAZAK  
(ファイス) 【マレーシア】

初めまして、私はファイスと申します。マレーシアからやってきました。今、私は19です。今年の4月9日に日本にきました。留学生として米子高専で機械工学を勉強しています。日本での勉強の目的は、マレーシアが将来的に先進国になるという夢を達成させるためです。私はまた、将来家庭生活をより良いものに替えたいです。だからその夢の実現のために頑張ります！

よろしく願いいたします。

3E MOHAMAD AMIN BIN A.HAMID  
(アミン) 【マレーシア】

私はマレーシアから来ましたアミンと申します。マレーシアでは一年間だいたい同じ気候です。だから、日本で楽しみにしているのは、四つの季節です。4月に日本に来る時、すごく寒いと思いました。冬だったら、どうでしょう。でも、先輩によると、少しずつ慣れるようになるそうです。

私はサッカーに非常に興味をもっています。上手ではないが、暇があったら、よくサッカーをします。

今まで、もう二か月ぐらい日本にいます。少しずつ日本の暮らしに慣れてきました。私はマレーシアではよく冗談を言ったり、大きい声で笑います。でも、いまではそんなことはまだないです。たぶんまだ慣れていないからです。大変だと感じるの、勉強のことです。特に、漢字がいっぱいある科目です。先生の指示を理解できないこともよくあります。でも、勉強は頑張っています。

私は、いろいろな日本の習慣が知りたいです。もし、お金があったら、日本全国旅行したいです。

3C MOHAMMAD ZAMRI BIN ZAINAL  
(ザムリ) 【マレーシア】

私は、ザムリです。マレーシアのジョホールから来ました。ジョホールはマレーシアの南の方にあります。兄弟は私を入れて、五人います。私は末っ子です。でも、それは私がわがままに育てられた子供という意味になりません。家族の中で、日本語が話せるのは、私だけでなく、お姉さんも日本語が話せます。彼女は今マレーシアの高等学校で日本語を教えています。でも、私たち二人は互いに日本語を教えることとか、日本語でしゃべることは全くありません。

マレーシアでは、一年間だいたい同じ気候です。だから、日本で楽しみにしているのは、四つの季節です。四月に日本に来る時、すごく寒いと感じました。冬だったら、どうでしょう。でも、先輩によると、少しずつ慣れるようになるはずですよ。

私はバドミントンに非常に興味を持っています。上手ではありませんが、マレーシアでは暇があったら、よくバドミントンをします。音楽にも興味を持っています。今、貯金してギターを買うつもりです。

日本に来てから、今まで、もう二ヶ月くらいたちました。少しずつ日本の暮らしに慣れてきました。日本の子供たちはすごくかわいいと思います。毎日部屋から幼稚園の子供達をみているから。私はマレーシアではよく冗談を言ったり、大きい声で笑います。でも、ここでは、今までそんなことはまだないです。たぶんまだ慣れてないから。大変だと感じるの、勉強のことです。特に漢字がいっぱいある科目です。先生のおっしゃっていることを理解できないこともよくありました。自分は日本語があまり上手ではないからです。だから、勉強を頑張らなくてはいいけません。できるだけ、勉強を頑張っていきます。

3E AMARASEKARA MALLIKA ARACHCHIGE,  
WARAPRIYA OSHADHA AMARASEKARA  
(オーシャダ) 【スリランカ】

はじめまして、オーシャダです。スリランカからきました。今年の4月から日本人の学生達と一緒に勉強しています。私はスリランカでの高校生活が終わってから、日本の大使館で試験を受けて日本にきました。米子高専へ来る前に東京で1年間、日本語学校で日本語を勉強しました。まだ日本語をうまくできませんが、日本人の学生達と一緒に勉強しているから日本語がだんだんうまくなれるとおもいます。

私の趣味は音楽を聴いたり、旅行をしたり、バスケットボールをしたりすることです。私には兄弟が一人います。両親が二人とも教師です。日本のような優しい人がいる国で勉強することになったのはとてもうれしいです。将来エンジニアになって、日本のためにも母国のためにも役に立ちたいと思います。皆さん、よろしく願いいたします。

3C PHENGPASEUTH SOUKSAVANH  
(トウイ) 【ラオス】

私はバンパスウスクサワンと申します。ラオスから参りました。今、米子高専物質工学科3年生です。

22年4月に日本へ来て一年間東京日本語教育センターで日本語を勉強しました。

実は、私は一関高専へ行く予定だったんですが、震災の影響で米子高専に決められることになりました。ここに来る前にどんな所か、イメージをもっていないし、どこに有るか分かりませんでした。ここに来て眺めが国に似ているからいい感じがしました。最も、米子高専に来て先生や友達など皆が温かい感じで迎えてくれました。心から本当にありがたいです。

今、世界中には環境の問題が起こっています。例えば地球温暖化や酸性雨など、そのことを考えて解決したいと思っています。又日本は高い技術を持っている国で文化も有名なので、高い知識を得ただけでなく有名な文化に触れたいと思っています。日本に来て化学の環境に関する学科分野の研究をしたいと思っています。

3C GANKHULUG MUNKH - ERDENE  
(ムーン) 【モンゴル】

私はムーンです。モンゴル人で現在日本に留学しています。1990年12月18日に生まれました。六人の家族です。両親と一人の弟と二人の弟がいます。2008年の6月に高校を卒業してモンゴル大学に入りました。一年生のとき文部科学省の試験を受けて合格しました。そして、2010年の4月に日本にきました。一年間東京日本語教育センターで日本語の勉強していました。今年の四月から米子高等専門学校の物質工学科に通っています。趣味はPCゲームとけん玉をすることです。スポーツは何でも興味をもってやりますが特にバスケットとサッカーが好きです。日本は先進技術で有名ですので、日本に留学してその進んだ技術から一応を学んで将来国の発展に役に立つよい専門家になりたいと思っています。そうなるために勉強を熱心にして一生懸命頑張っています。

## ■ 4年次編入学生

クラス	氏名	出身高校
4M	加藤 蒼士 征	鳥取県立米子工業高等学校
4D	渡邊 直 紀	鳥取県立米子工業高等学校
4C	松崎 悠 己	長崎県立長崎工業高等学校
4C	山口 翔 太	長崎県立長崎工業高等学校

## ソルダリング(はんだ付け)入門講座実施

技術教育支援センター 技術長 大谷 文雄

技術教育支援センターでは、ものづくり創成PBL支援事業「ものづくりのためのソルダリング(はんだ付け)入門」講座を、今年度も本科生対象に開講しました。この講座では、単なるはんだ付けスキルの向上にとどまらず、企業で実際に行われている手はんだ付け作業を手本に、温調式ステーションはんだゴテや環境に配慮した鉛フリーはんだなどに関しても、キットの製作実習を通じて、学生が、それぞれの意味や大切さを習得することを大きな目的としています。

講座は、2時間×5回のスケジュールで、技術職員の指導のもと、「ものづくり」において、ソルダリング技術は、「もの」の善し悪しを左右する重要な要素であることを学習し、各自がはんだ付けの基礎練習の後、2種類のキットを完成させました。

参加学生のアンケートには、「ロボコン製作や卒業研究に活用できる。」「はんだ付けだけでなく電子部品の取り付けのポイントや特性を知ることができて良かった。」との意見があり、今回の講座の成果が、今後、卒業研究やロボコン等の場で活かされることが期待されます。



## 学生が立案した岸本駅前施設が竣工

建築学科 細田 智久  
 専攻科建築学専攻2年 田中 良和・古安真紀子

建築学科細田研究室の専攻科生2名が中心となって基本構想を立案した伯耆町岸本駅前地域交通拠点施設が2011年4月19日に竣工し、実現しました。この基本構想は、地域住民との町歩きや住民からの要望を取りまとめるワークショップを重ねながらまとめたもので、JR岸本駅前待合施設(132㎡)とエコレンタサイクル駐輪場(75㎡)の新築と、駅前車両駐車スペース(1214㎡)の新設として実現しました。大山や周辺の住宅との景観的な調和を目指し、木造で黒瓦や深い軒下などを持つ外観デザインとしました。さらに待合室は、駅利用者以外もゆったりとくつろぎながら電車や大山を眺められる空間づくり、通学バスを待つ児童生徒のための沢山のベンチを備える場所としました。これらの施設計画には、木材利用、太陽光発電システム、LED照明、電動アシスト自転車などの最新のエコ設備が盛り込まれています。細田研究室は、この施設整備への貢献により、伯耆町長から感謝状をいただきました。



## 化学工学会学生発表会で優秀賞受賞

物質工学専攻 2年 山本 耕平

3月5日に神戸大学において行われた第13回化学工学会学生発表会神戸大会で口頭発表を行い、優秀賞を受賞しました。発表内容は特別研究のテーマとして実施している、無溶媒反応を活用した新規二次電池材料の開発に関する研究成果をまとめたものです。私は今回の受賞で、挑戦することと努力することの大切さを学びました。本学会で賞を受賞するまでに多数の学会で発表を行い、経験を積むことで自身のプレゼン力を磨いてきました。今回の発表では入賞を目標において、一週間前から発表練習を何度も練習しました。その結果として賞を得ることができたことは、自分の自信になるとともに今後の研究の励みにもなりました。残りの一年間はさらに上を目指して頑張りたいと思います。高専には高校と異なり、学生の活躍する場が多く用意されています。将来、社会人として活躍するためには自分をアピールすることが重要なポイントになると思われますので、皆さんには積極的に学会等における成果発表へ参加することで多くの経験を積んで欲しいと思います。最後にご指導頂いた谷藤先生と研究室の学生に心から御礼申し上げます。



## 米子駅地下空間計画を市役所で発表

建築学科 細田 智久・熊谷 昌彦

専攻科建築学専攻2年生の遠藤佳純、古安真紀子、角奈津子、田中良和、寺本哲郎、中村泉、村岡翔太、和仁佐緒里、以上8名が「官学連携米子駅地下空間活性化計画」を2011年4月22日に米子市役所で発表しました。この計画は、修繕が検討されている米子駅地下駐車場の周壁デザインとサイン計画について、4種類の改善方策を提案したもので、昨年度後期開講の創造設計実習と今年度前期開講の企画デザイン論の授業の一環として取り組んだ成果です。提案内容は、時間別の駐車スペースまでを分かりやすく誘導するサイン計画、地上にある駅やコンベンションセンターまでを誘導する電車や五線譜をモチーフとしたラインアートの計画、周辺の魅力的な観光地や景色を伝える周壁デザイン計画、ドライバーの視認性の良い照明付きサインの設置計画などを盛り込み、利用者の記憶に残る魅力的な駐車場空間への転換を目指しています。現在、親子連れや女性が気に入ってもらえるデザイン性の向上はもちろん、人間工学的なサインの視認性やユニバーサルデザインに関する詳細な検討を進めており、実現に向けて市関係部局と連携しながら取り組んでいます。



## 県春季高校卓球 男子ダブルス優勝

卓球部指導教員 河野 清尊

平成23年5月6日(金)・7日(土)に鳥取産業体育館で行われた平成23年度鳥取県春季高等学校卓球選手権大会において、男子ダブルスでE3河本航大・D2石塚智大ペアが優勝を飾りました。昨秋の新人戦では準決勝で敗退して悔しい思いをしましたが、その後練習に励み、今回の結果につながることができました。

この大会では、この他に男子団体で3位に、男子シングルスでE3河本が3位に入ることができました。これらに加えて、男女シングルスでベスト24以上に残った、E3西垣祐介、D2石塚智大、M1永井知明、C1大畑ひかりが、6月18日(土)～20日(月)に鳥取県民体育館で開催される第58回中国高校卓球選手権大会に出場することになりました。

今後は高専大会およびインターハイに向けてさらに練習に励みたいと思います。みなさんのご支援・ご声援を引き続きよろしくお願いします。



男子ダブルス決勝戦 向こう側が河本・石塚組

## 英語弁論全国大会出場報告

2E 平賀克己

2011.1/29  
に行われた、  
第4回全国高等  
専門学校英語  
プレゼンテー  
ションコン  
テストスピー  
チの部に出場  
してきました。



当日は、全  
国の高専から集まった英語好きの上級生に交じっ  
て、半年間取り組んできたスピーチを気持ちよく  
披露してきました。タイトルは、「Harisen  
Attacks」。新しいモノを創造する楽しさについ  
て、ただただ明るく元気よく・時には飛び跳ね  
ながら・聴衆からの笑いを受けつつ、弁論のス  
テージで語ってきました。

中国地区高専内の規定により、残念ながらほ  
くは今年度及び来年度には弁論の部に出場できま  
せん。ただ、今年度も是非米子高専生に、あの充  
実感を味わって頂きたいと思っています。まずは  
弁論の校内審査会に、「まだ●年生」「英語は上  
手くないし」などと怖気づかず、出してみませ  
んか？

最後に、主にご指導頂いた酒井先生、ありが  
とうございました。お世話になったみなさんにも、  
もう一度謝意をお伝えします。

## 平成23年度前期行事予定

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 金	↑	1 日		1 水		1 金		1 月		1 木	
2 土	春季休業	2 月	臨時休業	2 木		2 土		2 火		2 金	
3 日	↓	3 火	憲法記念日	3 金		3 日		3 水		3 土	
4 月	始業式ガイダンス	4 水	みどりの日	4 土		4 月		4 木	前期期末試験	4 日	
5 火	入学式ガイダンス	5 木	こどもの日	5 日		5 火		5 金	前期期末試験	5 月	
6 水	修学ガイダンス(1年のみ)	6 金		6 月		6 水		6 土		6 火	
7 木	↑	7 土		7 火		7 木		7 日		7 水	
8 金	↓	8 日		8 水	前期中間試験	8 金	臨時休業	8 月	前期期末試験	8 木	
9 土		9 月		9 木	前期中間試験	9 土	↑	9 火	前期期末試験	9 金	
10 日		10 火		10 金	前期中間試験	10 日	↓	10 水	前期期末試験(午前)/補講(午後)	10 土	
11 月	修学ガイダンス(1年のみ)	11 水		11 土		11 月	臨時休業	11 木	補講	11 日	夏
12 火	修学ガイダンス(1年のみ)	12 木		12 日		12 火		12 金	↑	12 月	季
13 水		13 金		13 月	前期中間試験	13 水	金曜授業	13 土		13 火	休
14 木		14 土	対松江高専定期戦	14 火	前期中間試験	14 木		14 日		14 水	業
15 金		15 日		15 水		15 金	↑	15 月		15 木	
16 土		16 月		16 木		16 土	↓	16 火		16 金	
17 日		17 火		17 金		17 日	保護者懇談会	17 水		17 土	
18 月	開校記念日	18 水		18 土		18 月	海の日	18 木		18 日	
19 火		19 木		19 日		19 火	月曜授業	19 金	第1回オープンキャンパス	19 月	敬老の日
20 水		20 金		20 月		20 水		20 土	夏	20 火	
21 木	健康の日	21 火		21 火		21 木		21 日	季	21 水	
22 金		22 日		22 水		22 金		22 月	休	22 木	
23 土		23 月		23 木		23 土		23 火	業	23 金	秋分の日
24 日		24 火		24 金		24 日		24 水		24 土	
25 月		25 水		25 土		25 月		25 木		25 日	
26 火		26 木		26 日		26 火		26 金		26 月	
27 水		27 金		27 月		27 水		27 土		27 火	
28 木		28 土	↑	28 火		28 木		28 日		28 水	補講
29 金	昭和の日	29 日	↓	29 水	球技大会・壮行会	29 金		29 月		29 木	補講
30 土		30 月		30 木		30 土		30 火		30 金	特別日課キャンパス(クリーンデー)
		31 火				31 日		31 水			

新年度にあたって

専攻科長 物質工学科 竹中 敦司

専攻科長として4年目を迎えることになりました。どうぞよろしくお願い致します。今年の専攻科における重要課題は「日本技術者教育認定機構 (JABEE)」受審と昨年度達成した「学位試験全員合格」を継続することの二つです。

4月の入学式で25名(うち女子学生5名)の入学生を迎え、専攻科生数は2年生とあわせ58名(13名)となっています。新年度になって2つの行事がありました。4月28、29日には広島市で中国四国地区高専専攻科生研究交流会が開催され26名の本校学生が研究発表を行いました。また、5月20日には「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYSプログラム)」の一環として本校に工科系のベトナム人大学生14名をお招きして、専攻科生15名とともにからくり人形キットの製作などを通して国際交流を図りました。



JENESYS プログラムでの交流の様子

ベトナム学生との交流会に参加して(Thank you for coming)

専攻科 生産システム工学専攻1年 太田 拓己

ベトナムの学生はとてもフレンドリーでした。また、留学についても前向きで日本語や日本の事について積極的に聞いてくれました。

今回の交流会は同じ工学系の人が相手でしたので、より親近感がわき、親しくなれました。しかし、いざ会話となると「相手の言っていることが分からない」「英語で表現できず、自分の伝えたいことを思う存分伝えきれない」等、言語の壁を感じました。

今までは英語を使う機会が無く、英語を勉強する意味が分かりませんでした。なので、今回の交流会はとても良いきっかけとなりました。数名の学生にe-mailアドレスを聞き、今後とも交流をしようかと約束をしました。友達と話すため、勉強しようと思えるようになりました。そして、彼らが日本に留学しに来たときに沢山会話ができるように、多くの事を吸収していきたいです。

今回の交流会を企画して下さったJICEの方々、通訳の方々、先生方を初めとする学校関係者の方々、英語の指導に当たって下さった中川先生、そして何よりも、親しく接してくれたベトナム学生の皆さんに感謝の意を表します。

地域社会にもっと米子高専を知ってもらうために

校長 齊藤 正美

米子高専では、地域の皆さんに米子高専の教育や学生の活動をより良く知ってもらうために、日頃から小中学生を対象とした出前講座や公開講座、オープンキャンパスやエンジョイ科学館、社会人を対象とした文化セミナー、ラジオ・テレビを活用した広報活動に力をいれています。これらの広報活動により、県内及び山陰地区の中学生や保護者の方、ひいては一般市民に米子高専の魅力を広く知っていただくことが出来たと思います。

また、今年3月からは、中海テレビをはじめとする地元ケーブルテレビ・ネットワーク網を利用した「県民チャンネル」で、一般教養番組「米子高専・知的セミナー」を放送しています。そのコンセプトは「米子高専の様々な分野の教員が、普段の生活の中で役立つ話や豊かな人生が送れるような教養が高まる話を講義形式で行う」です。当セミナーを通じて、高等教育機関としての本校が持っている「知的コンテンツ」を毎月発信し、地域へ還元していく予定です。ぜひご覧いただければと思います。

今年も、メディアを活用した広報として以下の番組を放送しますので、ぜひご覧下さい。

- BSSラジオ「おしゃべり本舗」『米子高専は魅力がいっぱい!』シーズン2  
6/23～8/25の毎週木曜日14:05頃～約10分間
- 中海テレビ「パルディアセレクション」『魅力満載!米子高専』7月中リピート放送  
各地区のケーブルテレビでも7月上旬放送予定!  
(日本海ケーブルネットワーク、鳥取中央有線放送、山陰ケーブルビジョン、やすぎどじょこテレビ)

※これらの広報活動はホームページ上で随時お伝えして参りますので、ご確認ください。



BSS ラジオのスタジオ

編集後記

彦名通信は、在校生の保護者を主な対象とした広報誌です。学生の日常の様子、クラブ活動・各種行事の様子、本校の研究・地域貢献活動等について、お伝えしていきたいと考えております。紙面へのご意見・ご感想を、メール (hikona@yonago-k.ac.jp) にてぜひお寄せください。今年度の編集委員は酒井 (G科)、村側 (D科)、山口 (M科)、小椋 (A科) の4名で、年4回発行予定です。

※記事において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

- M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…一般科目、S…専攻科
- 例えば、「1M」は機械工学科1年生を表しています。

発行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 TEL: 0859-24-5023 FAX: 0859-24-5029 印刷：株式会社高下印刷  
E-mail: hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/ ⇒メニューより「キャンパスライフ」